

第2回教区寺院セミナー アンケート集計

1、「臨濟録」の提唱は如何でしたか。

- ・ 禅の要諦、僧侶の在るべき姿を、大変分かり易く学べ、心がカラリと晴れる心地がしました。老大師のおっしゃる「僧侶は心のプロ」「人格に対して世の中の人には敬念や布施の心に向けて下さる」という言葉しかと肝に銘じて更に精進してまいります。
- ・ 臨濟録の僧侶たるものは「臨濟録」に学ぶというのは意義あることだと思います。老大師も分かりやすく丁寧な提唱は、日々を見つめ直す、いいきっかけになりました。
- ・ 老大師の最後は四弘誓願に皆返るといってお話が心に残りました。
- ・ 「僧堂は得る所ではなく捨てる所」という言葉が印象に残りました。貴重な経験になりました。
- ・ 他僧堂の提唱を拝聴する機会はなかなか無くとても有意義な時間でした。
- ・ 住職として僧侶として大切なことを説明して頂いた。とても良い講座だった。他僧堂の老師の提唱を聞けるのはとても良い。
- ・ 出身僧堂ではない師家様の提唱を拝聴できる環境にいる自分が非常に有難いと感じました。また是非提唱に参加したいです。
- ・ お経や法式を覚えるだけでなく、人間力をみがき初心を忘れない事が大切だと感じました。
- ・ 四弘誓願、やはり「願心」「志」が何より大切であると思った。この願心を失った時点で痴頑の漢になってしまう。四喝の話では常に疑念をもって反省しながら無事、無常を見つめていきたい。
- ・ 勉強不足でしっかりと勉強しなければいけないと思いました。
- ・ 老大師の思いが伝わってきました。
- ・ 工夫という言葉の大切さを知ることが出来、ためになりました。
- ・ 老大師のお話はとても分かりやすく、お経を読むだけでなく心根が大事という話が印象に残りました。
- ・ 分かりやすい内容にして下さった分、理解しやすかった。
- ・ 久しぶりの提唱でしたが丁寧な内容で良かったです。ただ、少し時間が長いと思います。
- ・ 有意義な時間を体験できました。
- ・ 僧侶としての心構えを教えてくださいました。
- ・ 現代における僧侶の在り方を考えこれから学んでいきたいと思った。

2、「禅学」の講義を受けて如何でしたか。

- ・ 先生のおっしゃっていた「仏教の思想を考える際、宗派のみにこだわらず、その思想が発展してきた時代背景や地域性にも目を向けてみると豊かに捉えられる」という視点に大変感銘を受けました。法話等で禅語や仏教語を用いる際、表面上の意味だけでなくそ

の語の成立した背景等も考慮したいと思います。

- ・ 仏教の流れを見ていくと、時代時代に合った説き方があるということが分かりました。現代に生きる私たちも時代に合った説法をしていかななくてはならないと感じました。
- ・ 中国仏教の歴史は難解なものだと思っていましたが宗派で考えるのではなく、北・南で分けその時代の思想で考えると理解しやすかったです。
- ・ 非常に勉強になりました。吉田先生の再訪を期待したいです。
- ・ 日々の生活の中での仏の智慧の有難みを改めて考えさせられました。
- ・ 禅僧としての定義を学ぶことが出来ました。
- ・ 今後より勉強を進めていくための良い参考になりました。今までの勉強出来ていない分野なので、今後のきっかけにしたいと思います。
- ・ 知識不足を痛感させられると共に先生のイキイキと話をされる姿にもっと学びたいと思った。上求菩提下化衆生だと思った。
- ・ 歴史についての説明が難しかった。時系列で順番に説明して欲しかった。
- ・ 中国禅宗史の体系と情勢、思想が良く理解出来ました。
- ・ 時代により貴族社会から実力社会の変化で歌われる漢詩や政治的な考えの変化などが非常に興味深かった。
- ・ 唐代、宗代の禅の流れが理解出来ました。日本仏教がブッダの教えとは違うと考えている人が多くなっている現代にとって、日本仏教はどのように日本に伝わったかを知らなければならぬと思っています。
- ・ 中国の宗派と日本の宗教宗派の違いなど面白く学べました。
- ・ 良い内容でしたが少し駆け足気味で理解が追い付かなかったです。
- ・ 昔の中国のお坊さんが神通力を期待されていたというのが驚いた。

3、「人権研修」を受けて如何でしたか。

- ・ 「差別」という問題が身近ではないと感じていましたが、ふと見ればそこにある問題だと感じました。宗教者である以上「人権」についてもアンテナをはっておかなければならないと思いました。
- ・ スピーカーのお一人の一人称の物語、しかと聴かせていただきました。大切な話を語って下さりありがとうございます。特に、中嶋氏のお話されていた「差別を考える上で先入観を離れ自分の目で見て体験して事実を知っていくことが大切」との言葉、胸に刻んで帰りたいと思います。
- ・ 一言に「人権」と言っても多種多様で、今後もさらに「なぜ差別するか？」の原因が増えていくと思われれます。もう少し部落なら部落、性的マイノリティなら性的マイノリティと一つに焦点を当てながら考える方がこのご時世分かりやすいのではないのでしょうか？
- ・ お寺の子として生きることをいかに自覚できるかだ。どこに生まれてもそれぞれ大変だ。

人権を禅的にどう捉えるか「人権を禅で語ると」をやって欲しい。

- ・ 部落問題に対して無意識に差別をしていることや人権問題で溢れていることに気付くことが出来ました。世の中の人、自分は関係ないと無関心でいることも反省すべき所であると思います。
- ・ 他人事である人権問題を改めて考え直す機会となりました。
- ・ 自分自身の問題と向き合い人権に対する意識を高めたい。
- ・ 同じ立場の方が話をされるのはとても親しみを持って聞けた。部落問題について詳しく知りたい。
- ・ 部落解放、人権大学ということがあるとは知らなかった為勉強になりました。
- ・ 人生について考える良い機会になった。
- ・ 「差別は被差別の経験から生まれる」という言葉は自分の中にない言葉であった。気づかされる事があった。
- ・ 差別問題や人権の内容の充実を計っては？自死と差別は無くならないかもしれないが、無くす努力と対策を考えなければならないと思います。
- ・ 自分の履歴を思い出す機会になりました。
- ・ 同じ青年僧の方が話をされていたので親身に聞けました。
- ・ 身を削って自身のお話を頂き、多く共感する部分がありました。各々が各々なりの人権あるいは仏教の関わりがあり、一律の「正義」はないと思いますが、他人事ではなく自分の事として常に胸間に掛けて参りたいと思います。

4、「住職研修会」の内容をどう感じられましたか。

- ・ 老大師の提唱から始まり、禅学・人権の講座と盛りだくさんではありましたが、大変勉強になりました。
- ・ たくさんの学びを得られました。しかし三講座の講師がすべて臨済宗のお坊さんというのは「多角的視座を得る」という観点からすると、少し偏っているかなというのが率直な感想です。せめて一人くらいは僧侶でない講師をお招きした方がより豊かな研修になる気がします。
- ・ 昔、住職研修会に竹中先生が来られた時、我々は檀徒に答えられるように強力に武装しなければいけない、と言われたように実践的に活用できる内容にして欲しい。
- ・ 久しぶりに老大師の提唱を拝聴し身が引きしまる思いでした。
- ・ テーマの脚下照顧の如く、今一度自分自身を見つめなおすよい機会となりました。
- ・ 多くの講義を聞くことが出来、充実した時間を過ごすことが出来ました、有難うございました。
- ・ 臨済録提唱と中国仏教の流れ、人権問題の学習と充実した内容のセミナーだと思います。
- ・ 講座ばかりでは疲れるので法式など立つ時間も欲しい。
- ・ 内容盛り沢山で少し疲れた。

- ・副住職になり3年経ち慣れもでてくるころにセミナーの老大師の提唱をお聞きし初心に帰り知識を得るだけでなく人間の内部を磨くことも大切だと感じました。
- ・人権問題、差別等はいかなる時代でもあるため今回の話を日常でもいかしていきたいと思った。
- ・自分が発表する為、緊張でしっかりと話が拝聴出来なかった。
- ・どの講座も分かりやすく参考になりました。
- ・分かりやすい内容の物が多く良かった。
- ・充実した内容だと思います。
- ・毎回変化に富んで気づきと学びを得られます。
- ・法階昇進の方の出席が多く一般和尚の出席が少なかった。

5、今後の教区寺院セミナーでどのような内容を希望されますか。ご意見をお聞かせ下さい。

- ・引導法語、経典解説など基礎的な研修を希望します。
- ・僧侶（宗教）とテクノロジー（AIやVR等）の共存をどう考えていくか。
- ・グリーンケア的視点からの葬送、法要の在り方の見直し。
- ・通夜、葬儀、法事などで檀家さん達にどういう法話やお話をするかという意見交換会みたいな事が有れば面白いかと思われます。
- ・復習、確認の場として法式等作法を学ぶことができれば有難い。あと、妙心寺について何か（歴史、無相大師）等学習したい。
- ・法式や梵唄。
- ・様々な現在起こっている諸問題を取り上げる。一方的に講義を聴くよりはワークショップ形式の方がよいか。
- ・これからの寺院運営についても学びたいと思いました。
- ・法話の仕方。
- ・吉田師の禅学講座は講義が途中ですので続きをお願い致します。
- ・今回の人権研修のような話が聞きたいです。
- ・禅学は大変興味深かった。もっと勉強したいと思った。
- ・地域の禅宗の歴史などを取り入れた内容。
- ・他の僧侶との交流があるといいと思った。